

会員みなさまの紹介・・・近江舞子しょうぶ苑（大津市）

- ◇ 平成 28 年 2 月「フリースペースアイリス」をオープン
- ◇ 地域が一丸となって“子どもたちの夜の居場所”づくり
- ◇ イベントなど、職員も一緒になって楽しいひと時



特別養護老人ホーム近江舞子しょうぶ苑は、夏になるとにぎわう近江舞子水泳場のすぐそばの大津市南小松にあります（JR 近江舞子駅からは北へ徒歩 10 分ほど）。

平成 28 年 2 月より、学校に行きにくくなっている子どもや、家庭の事情によりさびしい思いをしている子ども、個別的な支援を要する子どもたちの夜の居場所作りのために「フリースペース アイリス」を始めました。毎週木曜日の 午後 17 時から 20 時まで、安心して子どもらしくいられる場所として開催しています。

社会福祉施設には、24 時間必ず人がいて、あったかいご飯があって、大きなお風呂があります。そして、施設の中のお手伝いを通じて、「ありがとう」と言われる経験をするなど、子ども自身が役割を感じられる機会があります。子どもを「孤立させない・孤立を防ぐ」ために、地域の資源や人がチームとなり地域の居場所づくりに取り組みます。本事業は、滋賀の縁創造実践センターのモデル事業として実践しています。

対象 : 小学生から中学生 (志賀中学校区にお住まいの子ども等)

食事代 : 100 円

実施曜日 : 毎週木曜日 17:00~20:00



現在、小学 3 年生 1 名、小学 4 年生 1 名が利用していて、毎週楽しみに来苑してくれています。来苑後、食事をしてお風呂に入り、学校の宿題をしたり、ゲームや風船ボールを使ってレクレーションを行ったり、また「誕生会」、「夏のお楽しみ会」などのイベントを企画して、職員も一緒になって楽しいひと時を過ごしています。短い時間ではありますが、子どもたちにとって安心して過ごせる心地よい居場所が提供できるよう、職員一同努力しています。

2 月 18 日のプレスタートより、子どもたちにも少しずつ変化がみられるようになりました。苑に到着して玄関をからフリースペースの場所まで移動する間に会う他の人への「あいさつ」も少しずつ出来るようになり、また、最初は「はずかしい…」と職員と一緒に入れなかったお風呂に、最近はワーカーと一緒に 3 人で入浴しています。職員との対応や会話の中にも、当初はあまり見られなかった「他の人への思いやりのこころ」もみられるようになりました。一週間のうちの 3 時間という短い時間ですが、子どもたちに少しでも良い方向に変化が見られたことは、関わる職員にとっても嬉しいことです。

これから期待していることは、入居されている方々に「おじいちゃん」「おばあちゃん」と話しかけたり、肩もみなどしながら、一緒に時を過ごせるようになってくれたら…と思っています。

社会福祉法人志賀福祉会 特別養護老人ホーム近江舞子しょうぶ苑

苑長 村田 憲治

大津市南小松 90

TEL 077-596-2233

<http://www.biwa.ne.jp/~syoubu/>